

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年5月24日(2018.5.24)

【公表番号】特表2017-520292(P2017-520292A)

【公表日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2017-028

【出願番号】特願2016-568900(P2016-568900)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

A 6 1 B 6/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 6 0 J

A 6 1 B 6/14 3 0 0

A 6 1 B 6/03 3 6 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月5日(2018.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも部分的には計算処理装置上で実行される、患者の3D頭部計測分析のための方法であって、

少なくとも第1の2Dビュー及び第2の2Dビューからの患者の頭部のコンピュータ断層撮影スキャンによる、再構築されたボリューム画像データを表示することと、

少なくとも1つの参照標識を、少なくとも前記第1の2Dビュー上に、前記参照標識をラベリングすることなく配置し表示するオペレータ命令を受け入れることと、

前記患者の口内の1つ以上の歯列要素をセグメンテーションすることと、

前記再構築されたボリューム画像データ及び前記1つ以上のセグメンテーションされた歯列要素を使用して、少なくとも前記第1の2Dビュー上で前記少なくとも1つの参照標識を自動的に識別することと、

前記少なくとも1つの参照標識及び前記1つ以上のセグメンテーションされた歯列要素からのデータに従い、前記患者に対する1つ以上の頭部計測パラメータを計算することと、

前記1つ以上の計算された頭部計測パラメータの分析により生成された1つ以上の結果を表示することと、

を含む方法。

【請求項2】

事前に測定した値を前記頭部計測パラメータと比較することと、前記比較に関係するメッセージを表示することを更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の2Dビューと実質的に直交する前記第2の2Dビュー上で、前記少なくとも1つの参照標識を表示することを更に含み、前記少なくとも1つの参照標識は、前記患者の口の外にある解剖学的特徴を識別し、複数の頭部測定パラメータを計算して表示することは、前記頭部計測パラメータに関係する3Dの枠組みを生成することを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項 4】

論理プロセッサであって、

患者の頭部の再構築ボリューム画像データの少なくとも 1 つの 2D ビューを表示し、
前記少なくとも 1 つの表示された 2D ビュー上で少なくとも 1 つの参照標識をラベリングすることなく、前記頭部の解剖学的特徴に対応する少なくとも 1 つの参照標識を配置するオペレータ命令を実行し、

前記配置された少なくとも 1 つの参照標識を表示し、

前記患者の口内で少なくとも 1 つの歯列要素を分けるセグメンテーションを実施し、

前記再構築したボリューム画像データ及び前記少なくとも 1 つのセグメンテーションされた歯列要素を使用して、前記少なくとも 1 つの表示された 2D ビュー上で、少なくとも 1 つの配置された参照標識を自動的に識別し、

前記セグメンテーションされた歯列要素及び前記少なくとも 1 つの参照標識を分析し、かつ前記分析に従い少なくとも 1 つの頭部測定パラメータを計算し、

前記分析からの前記 1 つ以上の頭部計測パラメータを表示する、

ことを特徴とする、コード化された命令と共に構成される論理プロセッサ。